

# D論

## 公開発表会

2018年1月30日(火) 14:00～15:00  
北海道大学総合博物館1階「知の交流」ホール

### ワニ類の生態進化史の復元 —形態計測・系統学的アプローチ—

飯島 正也 (理学院博士課程)

ワニ類は白亜紀後期から現在まで約 8000 万年のあいだ繁栄を続けてきた爬虫類の1グループである。本研究では、食性や運動など、個体の生存に直接かかわる機能の進化について調べると共に、進化的な考察をするベースとなる系統関係の見直しを行った。その結果、水陸境界の環境に適応した特殊な個体成長、巨大クレード分化に伴う生態学的分化、食性・運動機能の共進化など、ワニ類の進化パターンの一端が明らかになった。また、奇妙な形質の組合わせをもつ東アジアのワニの観察や、進化的に保守的な体骨格形質の比較を通して、長年議論が続いたワニ類の系統問題を解決できる可能性がでてきた。

#### 事前申込み不要

どなたでも聴講できます。

この機会に北大生の研究成果と一緒に聞いてみませんか？

—お問合せ—

北海道大学総合博物館 TEL & FAX 011-706-2658

